作楽

第219号

令和元年12月20日号

社会福祉法人　一誠福祉会
〒441-8066　豊橋市王ケ崎町字上原1番地145
TEL(0532)48-5111・FAX(0532)48-5112



宗次ホール「クラシック音楽お届け隊」の演奏家によるふれあい音楽会　於 老健ベルヴューハイツ

目次

2019年回顧　年末雑感……2　社会福祉法人一誠福祉会 理事長　滝川　一亮
消費税　軽減税率8%……3　社会福祉法人一誠福祉会後援会 豊橋理事　尾崎まとみ
後援会だより……4～5
ベルヴューハイツふれあい音楽会を主催して　社会福祉法人一誠福祉会後援会豊橋 副会長　滝川　裕治
素敵な音楽と笑顔が溢れた一日　ケアハウス美光ハイム 生活相談員主任　一番ケ瀬智佳子
文化の日の行事……6～7
令和最初で初めての作楽荘文化祭　特別養護老人ホーム作楽荘 介護士　稲垣　香
麗楽荘文化祭での新たな取組み　特別養護老人ホーム麗楽荘 介護士　神谷　晃紹
10大ニュース……8～9
2019年（福）一誠福祉会**10大ニュース**　機関誌『作楽』編集部
情報発信　魅力あるホームページづくり10　社会福祉法人一誠福祉会 本部次長　鈴木　恒也
リハビリ講座　脳卒中その⑧……11　老人保健施設ベルヴューハイツ リハビリテーション主任　杉本　昌洋
施設だより……12～19
＊作楽荘　買い物外出　特養介護士　白井　紅音
中野小学校との交流　特養相談員主任　安藤　威文
＊美光ハイム　入居者日帰り旅行　生活相談員　有島　美香
＊倶楽荘　祝百歳　介護士　渡邊　裕江
＊GHくらら　私の思い出の日　入居者　神谷規矩子
＊斯楽荘　インフルエンザ対策　看護師　村野　朋子
＊ベルヴューハイツ　盛り上がった合同運動会　デイケア介護士副主任　嶋　紘見
豊橋介護予防大会　地域包括 看護師　山﨑　理枝
＊DSC吉かわ　令和の秋2　介護士　市川　知恵
＊麗楽荘　季節の作品作り　介護士　中村　楓花
＊デイサービス麗楽荘　楽しく手作業　看護師　加藤　和枝
＊和光ハイム　新しい仲間　介護士　鈴木　裕佳
＊GHうらら　「RUN伴新城」応援参加　介護士　谷口　秀代
＊奇楽荘　昼食会にお招きして　介護士　鈴木　幹奈
＊GHきらら　ボランティア活動　介護士　宮下　市陽
施設日誌／編集後記……19～20

2019年回顧

年末雑感

社会福祉法人 一誠福祉会 理事長　滝川一亮

はやいもので、令和元年も残すところあと僅かとなりました。平成から令和へと年号が変わった節目の本年は、消費税が8%から10%に増税された年であり、天皇即位や日本史上初のラグビーワールドカップ決勝進出など明るいニュースがあった反面、京都アニメーション放火殺人事件や首里城焼失、台風15号、19号による甚大な被害、世界的な異常気象やマイクロプラスチックによる生態系への深刻な環境汚染が明らかになるなど、人災、天災が多い年でもありました。犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表しますと共に、被災地の皆様の一日も早い復興を祈念申し上げます。

運良く台風の進路が逸れ、大きな被害に遭わなかった豊橋ですが、11月11日の昼に大きいもので2~3センチの雹（ひょう）が降り、豊橋が誇る特産品である次郎柿に甚大な被害を及ぼしました（写真）。わずか10分、一瞬の出来事で1億円以上の損害が生じたとの事です。当クリニックの患者さんにも柿農家の方が何人かおられます。世間話で日々の草取りや枝の剪定、摘果の苦労をお伺いする事があります。一年間、丹精込めて大切に育てた柿が、ようやく収穫という直前に全てが台無しになりました。さぞや無念であった事と思います。今回は、柿だけでなく、露地野菜も被害を受けたとの事、心よりお見舞い申し上げます。



被害を受けた次郎柿

さて、話は変わりますが、来たる令和2年、2020年はオリンピック、パラリンピックが開催されます。56年前の1964年にも東京がオリンピックの舞台となりましたが、故前理事長が医療ボランティアとして参加した事を誇らしげに語っていた事を思い出します。今回は一体どんなドラマが生まれるのでしょうか。来年7月の開催が今から待ち遠しくてしかたありません。

来年は今年の災難の分だけ平穏な年となる様、心より祈念しております。今年一年、一誠福祉会を後援して頂き、誠にありがとうございました。来年もどうか宜しくお願い申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

消費税

軽減税率8%

社会福祉法人一誠福祉会後援会 豊橋理事　尾崎　まとみ



消費税が2%増税されました。少子高齢化や高学歴により、納税する現役世代が激減する一方で高齢者は増加しています。不足する社会保障費等の財源を確保するため、所得税や法人税を引上げると現役世代に益々の負担を強いることになるので、高齢者を含めた国民全体で負担をしようとするものです。

今回の消費税率引上げでは、生活費に直結する飲食料品と週二回以上発行される新聞の定期購読に対して軽減税率（8%）が適用されました。

飲食料品かどうかは、「人が食べるものかどうか」で判断します。ただし、酒類（アルコール分1%以上の飲料）と医薬品、医薬部外品、再生医療等製品および机、椅子等の飲食設備のある場所で顧客に飲食させる外食等は軽減税率の対象から除かれ、食品添加物は含まれました。

飲食料品とそれ以外のものが一体となっている商品は、税抜金額が一万円以下で、飲食料品の金額が三分の二以上を占めれば8%です。

具体的には、みりん風調味料は8%、みりん（酒類）は10%。オロナミンC（清涼飲料水）は8%、リポビタンD（医薬部外品）は10%。駅の売店で売るコーラは8%、カラオケボックスで頼んだコーラは特定の部屋で提供されるため10%となります。

「水」は、飲料水として販売されるものは8%。水道水は飲料以外にも使用するので10%。水道水でもペットボトル等に入れて人の飲料水として販売すれば8%。しかし、犬の飲料水として販売すれば10%。「人が食べるものとして販売するかどうか」で判断します。コンビニで犬のためにおにぎりを買っても、販売者が「人が食べるもの」として販売すれば、その後購入者がどのようにしようと8%です。

販売時点で判断すれば良いので、販売時に購入者の意思確認をして持ち帰るはずの飲食料品を8%で販売後、購入者が飲食コーナーで食べても追加徴収はしません。出前も8%です。

また、義務教育の学校給食や有料老人ホームの入居者への飲食料品の提供（制限あり）なども8%です。しかし、病院の課税される特別食や社員食堂などは外食に該当し10%となります。

また、まぐろは8%なのに対して、肉用牛、食用豚、食鳥等の生きた家畜は、その販売の時点では「人が食べるもの」ではないとされ10%ですが、枝肉に切り刻めば8%となります。そのままでは直ちに食用にならないとした苦肉の策です。なかなか面倒ですね。

後援会だより

ベルヴューハイツふれあい音楽会を主催して

社会福祉法人一誠福祉会後援会豊橋 副会長　滝川裕治

去る11月17日ベルヴューハイツに於いて「ふれあい音楽会」を開催致しました。今回のイベントは一誠福祉会後援会豊橋が主催した記念すべき第1回目です。

音楽には人を元気にする力があると思います。私自身、クラシック音楽の上質な生演奏を聴くと感動します。勇気づけられたり、心を癒されたりします。しかし、遠方までコンサートへ出向くことはなかなか骨が折れることです。

今回はベルヴューハイツの利用者様やご家族様、また、地域に居住する皆様に上質な音楽を身近にふれていただき、コンサートをきっかけとした出会い、そして、コミュニケーションを図ることを目的として、クラシック音楽専門のコンサートホール「宗次ホール」からピアノとチェロとバイオリンの3名の音楽家の皆様をお招き致しました。「宗次ホール」はカレーハウスCoCo壱番屋の創業者宗次徳二氏が2007年名古屋市中区栄に開館したクラシック専門のコンサートホールで、日本屈指の年間演奏回数を誇っております。

演奏された音楽家は苅谷なつみ様（ヴァイオリン）、川村なつみ様（チェロ）、近藤聡美様（ピアノ）皆様揃って大変見目麗しい御三方でした。

当日は天気も良く、多くの皆様のご来場でベルヴューハイツ1階デイルームは満員御礼となりました。

プログラムは①エルガー：愛の挨拶②草川信：夕焼け小焼け③見岳章：川の流れのように④ラヴェル：ボレロ⑤ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ⑥マンシーニ：ムーンリバー⑦マルケッティ：魅惑のワルツ⑧苅谷なつみ：カタチナイモノ⑨モンティ：チャールダッシュ　アンコール：故郷

ヴァイオリンとチェロとピアノのトリオはシンプルな構成で演奏が一音一音はっきり聞こえてとても聴き易く、皆様は上質な生演奏をゆったりと堪能出来たのではないでしょうか。

最後は音楽家の皆様と写真撮影タイム。和やかな雰囲気の中、ご来場された皆様が笑顔で楽しんでいらっしゃったのを垣間見ることが出来、とても嬉しい気持ちになりました。これを機に第2回、3回と開催できましたら幸いです。

末筆ではございますが、ご来場賜りました皆様、ご協賛を賜りました皆様、企画・運営された宗次ホール様、一誠福祉会後援会新城様、会場スタッフの皆様、たくさんの皆様に支えられこの催しが成功裏に終わることが出来ました。心より御礼申し上げます。

素敵な音楽と笑顔が溢れた一日

ケアハウス美光ハイム 生活相談員主任　一番ケ瀬 智佳子

小春日和に喜びを感じる向寒の11月17日、老人保健施設ベルヴューハイツにて「ふれあい音楽会」が開催されました。

後援会豊橋滝川裕治副会長からの熱いエールで実現した、宗次ホール企画のイベントです。

先ずはベルヴューハイツ滝川一成施設長の開会の辞で幕開けです。次に滝川副会長からご挨拶を頂きました。

宗次ホールはクラシック専門のコンサートホールで、CoCo壱番屋の創業者宗次徳二氏が私財を投じ建設し、作曲者の三枝成彰氏が監修を務めたものです。その宗次ホールの、「クラシック音楽お届け隊」に属している音楽家の皆様が今回お越し下さいました。

演奏者はヴァイオリニスト・チェリスト・ピアニストの3名。クラシック音楽を初心者からファンの方まで幅広く楽しんで頂けるプログラムで構成され、目の前でプロの生演奏を聴ける貴重な機会です。演目は初心者の方にも聴きやすいクラシックスタンダードな曲「愛の挨拶」「ムーンリバー」「川の流れのように」など全9曲です。演奏の合間にトークやクイズが盛込まれ、クイズ正解者には宗次ホールのご好意でCDがプレゼントされました。アンコール曲は「故郷」会場の全員が声を揃えて大合唱、デイルーム全体に歌声が響き渡りました。

パンフレット



演奏の後は、感謝の意を込めてベルヴューハイツの入所者から花束贈呈です。素晴らしい演奏を通し心が温まり、元気をもらったばかりの高齢者のお顔が花束よりも輝いて見えたのは私だけでしょうか。最後に、後援会豊橋尾崎理事から閉会の辞を頂戴し、音楽会は幕を閉じました。

実りある晩秋に、更に実り多くなるよう願い、叶えられるきっかけ作りを与えて頂けたように感じました。これを機に、少しでも施設の敷居は低く、身近なものだと感じて頂き、ご相談・ご見学などお気軽にお越し頂けたら幸甚に存じます。

後援会をはじめ、多くの方々から多大なるご協力・お力添えを頂き、無事に開催する事ができましたこと、心からお礼と感謝申し上げます。



元気を沢山もらいました

文化の日の行事

令和最初で初めての作楽荘文化祭

特別養護老人ホーム作楽荘 介護士　稲垣　香

令和最初の文化の日、作楽荘の一大イベントである「文化祭」が盛大に開催されました。

私は今年の春、人事異動で作楽荘へ配属になりましたので、今回が初めての文化祭です。どんな文化祭なのか？全く分からず、ドキドキ・ワクワクでした。

当日、作楽荘の最上階で「美光喫茶」を担当させていただきました。そこからの景色は素晴らしく、右手に結婚式場のお城のような建物があり、町を一望できる最高の眺めです。一瞬、異国にいるかの様に感じました。お越しいただいたお客様も同じように感じられた方がいたのではないかと思います。

美光喫茶はメニューが豊富で、カレーライス・サンドウィッチ・おでん・ケーキ。飲み物はコーヒー・ジュース、そして流行りのタピオカミルクティーまで、本格的でこだわり抜いた品々をすべてワンコイン（百円）で提供。何とも激安価格で、充実したメニューで大繁盛でした。

ところでタピオカミルクティーの中に入っている「タピオカ」って、何で出来ているのかご存知ですか？「キャッサバ」の根や茎から出る「でんぷん」なんですって！今回、美光喫茶のミルクティーの中に入っていたタピオカは一粒がとても大きく、モチモチしていて、大好評でした。



価格も味も太鼓判

もちろん、美光喫茶以外も大盛況。ご利用者さんの素晴しい作品展示・お茶会・占い・健康相談コーナーに模擬店（五平餅・みたらし団子・フランクフルト・うどん・焼き鳥・焼きそば・お好み焼き・フライドポテト）やバザーに餅投げと、盛りだくさんの内容でした。

今年は地域の皆さんにも沢山お越しいただきました。ご利用者さんもご家族と楽しいひと時を過ごされ、笑い声・笑顔が溢れる一日でした。地域の皆さんにも喜んでいただけたようで本当によかったです。来年も沢山の方々のお越しをお待ちしております！



天気に恵まれ売上げも上々

麗楽荘文化祭での新たな取組み

特別養護老人ホーム麗楽荘 介護士 神谷晃紹

今年の麗楽荘グループの文化祭は、基本的な部分はそのままで、規模を少し大きくしました。その中身は大きく分けて三つあります。

一つ目は模擬店のメニューの見直し。職員にアンケートを取って色々な案を出してもらい、その中で選択した結果、おでんやチュロス、タピオカミルクティーなどが新たに増えました。

当日は上手くいかないところもありましたが、物珍しさと、新メニューということでなかなか好評でした。もちろん定番の小島荘長の特製やきそばも売り上げを伸ばすのに一役買ってくれました。



今年は新メニューで勝負

二つ目はボランティアの活用。外部との交流をさらに増やしていくこと、人員配置の不足を補えるということです。定期的にボランティアに来て頂いている「はぐるまの会」の皆さんと介護実習で交流のある「宝陵高校」にお願いをし、ご協力いただきました。今回はこの二団体のみの依頼でしたが、今後は他団体への呼びかけやボランティアを導入する行事を増やしていくことができればより外部との交流を図れると思いました。

三つ目はアトラクションの検討。例年、麗楽荘の文化祭でのアトラクションは「ほうらい吹奏楽団」の演奏のみでした。行事委員会の場で色々と検討した時に、「太鼓の演奏は迫力があって良いよね！」という意見があったため、今年は吹奏楽団プラス太鼓の演奏ということで決定しました。

太鼓の演奏は老健ベルヴューハイツやDSC吉かわで慰問実績がある「鼓流」にお願いをし、ご協力いただきました。吹奏楽の安定した素晴らしい演奏に加え、重厚感ある太鼓の演舞はやはり一味違った迫力があり、皆さんを魅了していました。

限られた予算・時間・人員でも色々なアイディアで新たな試みができました。来年も今年以上に入所者・ご家族・地域の皆さんが楽しんで頂けるよう企画の充実に取組んでいきたいと思います。



「鼓流」の迫力ある演舞

10大ニュース
―2019年―
(福)一誠福祉会 10大ニュース

1 新体制による法人運営

令和元年6月19日の定時評議員会におきまして、理事・監事任期満了に伴う役員の選任について審議され、左記のとおり理事が承認されました。

また、6月22日、新執行部で理事会が開催され、滝川一亮理事長が選定されました。新体制による運営が始まりました。

理事長　滝川一亮
理事　滝川一成
理事　岩﨑　章
理事　後藤英夫
理事　青山　勉
理事　小島寛晶
監　事　佐藤敏和
監　事　佐藤征子

2 新元号は「令和」

「平成」が幕を閉じ、新たな元号「令和」が5月よりスタートしました。

皇位継承前の新元号公表は憲政史上初めてであり、「大化」（六四五年）から数えて二百四十八番目の元号となりました。



新しい時代の幕開け

出典は万葉集の「梅花の歌」の序文「初春の令して氣淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」からの引用、国書からは初めてで、さらに記者会見では、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」と述べられています。

3 豊橋市天皇陛下ご即位記念奉祝式典に参加

5月5日、豊橋市公会堂にて「天皇陛下ご即位記念奉祝式典」が行われ、老健ベルヴューハイツに今年入職した介護士の金子ひなたさんが、新たな年号「令和」への夢を語るべく若者代表として抱負を語りました。後日功績により後援会豊橋から感謝状と金一封が贈呈されました。



「令和にかける夢」を語る

4 老健ベルヴューハイツ 滝川一成施設長の就任



滝川病院の院長を辞任後、平成21年より5年間初代近田施設長の後任として勤務した老健ベルヴューハイツに再度施設長としてこの5月より就任しました。当法人及び愛知県老健協会の理事とし

ても長きにわたり務めて頂いています。

5 浴衣で打ち水

東京オリンピック開催1年前の7月24日、全国一斉に打ち水をして気温1度下げる「浴衣姿で納涼打ち水大作戦」に参加し、和光ハイム玄関前で麗楽荘・和光ハイムの皆さんと打ち水を行いました。当日は装賀きもの学院による着付け教室も開催され、浴衣姿で打ち水を行いました。水を撒いた瞬間、会場一体が涼しい空気に包まれました。

6 新城市長が表敬訪問

9月19日、穂積亮次新城市長が麗楽荘を訪れ、百歳以上の入所者をお祝いして頂きました。麗楽荘では六名の方がみえられ、最高齢は百五歳です。ご家族の方も参加され、市長を囲んで記念撮影をいたしました。



新城市長が表敬訪問

7 文化祭売上金を台風19号被災地に義援金

11月3日、法人各拠点で文化祭を開催。作楽荘・美光ハイムの文化祭ではバザー、作品展示、抹茶提供、喫茶店、模擬店、餅投げ等の催しが行われ、ご家族の方、地域の方が多く来荘されました。その中のバザーについて、その売上金の全額を台風19号で被災地に義援金として贈呈いたしました。

8 ベルヴューハイツふれあい音楽会の開催

11月17日、ベルヴューハイツにおいて一誠福祉会後援会豊橋主催で「ふれあい音楽会」を開催いたしました。「宗次ホール」からピアノ・チェロ・バイオリンの3名をお招きし、全9曲を奏でて頂きました。演奏の合間にトークやクイズが盛り込まれ、来場された皆様が笑顔で楽しんでいらっしゃいました。

9 木の花会日帰り旅行

平成四年から二十年以上続いている木の花会（職員福利厚生会）の大切なイベントの職員一泊旅行の他に、今年は「日帰り旅行」を希望する意見が非常に多かったことを受け、初の試みとして企画されました。今まで諸事情により欠席していた職員も日帰りならと多く参加され、一泊旅行と合わせ昨年以上の参加がありました。

10 消費税が10%に

10月1日より、消費税が2%増税されました。不足する社会保障費等の財源を確保するためです。しかし、同時に軽減税率として以前と同じ8%が適用される対象物も定義されてきたので、なかなか理解しにくい仕組みとなっています。法人経営としても経費が圧迫されることから今後の経営のかじ取りが重要になってきます。

情報発信

魅力あるホームページづくり

社会福祉法人 一誠福祉会 本部次長　鈴木恒也

2年前の8月、本部会議の席で、法人のホームページ作成担当に正式に任命されました。実は、ホームページ作成についてのプロジェクトは数年前から立ち上げられ活動されていたようですが、目に見えて成果は上がっていなかったため、白羽の矢がたったわけです。

私はそこに殆ど携わっておりませんでしたし、PCの知識も特別ある訳でも無かった為、任命当初は不安な気持ちでいっぱいでした。

今の世の中は情報社会であり、一般企業はもとより公的機関でも当り前のようにホームページが立ち上げられ、そこから多くの情報が世界に発信されています。また、福祉業界においても、法人単位や各施設単位でのホームページがどんどん立ち上がっていました。

そんな状況下でしたので当然焦りはありましたが、どの企業や他法人よりも魅力があるホームページを作成して行くんだとの強い信念を持って進めていきました。

始めに取り掛かったのは業者へのホームページのデザインや、今までの進捗状況の確認を行いました。何度か業者とやり取りを行っていく上で徐々に全体像がみえてきました。

しかし多種多様なページを作成する上で各施設・事業所の情報やデータを収集していく事が予想外に大変でした。それでも、理事長はじめ皆さんのご協力を得て平成29年12月中旬にはまだまだ未完成ではありましたが、なんとか一誠福祉会のホームページを開設することができました。平成30年6月からはブログを始めた事により、各施設や事業所の取り組みを随時発信する事ができるようになりました。

また、当法人の機関誌「作楽」の新刊が発行される度にホームページにアップすることで法人の広報活動の一端になって職員応募される方の中には、「ホームページの機関誌を読んで応募しました」と応募理由を述べられる方もみられました。

ホームページは一度作れば終わりではなく、常に更新していかないと、せっかくのコンテンツの鮮度が劣化してしまいますので、今後も質・量共に充実を図っていき魅力あるホームページにしていきたいと思います。



皆さんイイネ押してね！

リハビリ講座

脳卒中 その⑧

老人保健施設ベルヴューハイツ リハビリテーション主任 杉本昌洋

私は片頭痛に悩まされることがあります。日頃の行いが悪いのか、旅行中に起きてしまいました。

片頭痛には前触れがあり、私の場合は新聞などを読もうとした字がぼやけ、そのまわりの字は、はっきりしているという症状が出ます。次に視野の上の隅に稲妻のような光が現れます。光が消えると頭痛が始まります。頭痛で治まることもあれば嘔吐を伴うこともあります。周期的に数回程、嘔吐を繰り返した後、快方に向かいます。

何度も経験してきたことなので驚きませんが、急に視覚障害や頭痛そして嘔吐が起こると脳卒中かと心配してしまうかもしれません。



さて、旅行の夕食はバイキングでした。そしてワイングラス3杯分の値段程度で飲み放題という悪魔の誘いがあり、まんまとそれに乗せられ暴飲暴食をしてしまいました。夜中に片頭痛と二日酔い?が重なったのか、頭痛と嘔吐で散々でした。ひどい胃のもたれで翌日の三食は、ほぼ水分のみ、更に最終日の朝食もスープだけでした。そのような状況で観光を続けたので帰りの飛行機に搭乗した時にはかなりの疲労感がありました。機内で長崎県産のアゴと呼ばれるトビウオをだしにしたスープに大分県産のユズの粉末を加えた暖かいアゴユズスープが出されました。おいしく飲んだあとは体が暖かくなり汗が出てきました。元気が出るスープだと思いきや、汗の出かたが尋常ではありません。ふと、起立性低血圧で意識を失った方の多くが、大量の汗をかいていたという光景がよみがえりました。



やがて視野の下の方がにじんできたため、空いていた隣の座席に上半身を横にしました。その後、眠ったのか、気を失っていたのかはわかりませんが、着陸態勢に入るので体を起こすようにと客室乗務員に言われ眼が覚めました。

飛行機頭痛は起きなかったのですが、3泊4日の旅行の半分は自分の不摂生により十分に楽しむことができませんでした。反省しきりです。

今回で脳卒中は終了です。ありがとうございました。

施設だより

作楽荘

○買い物外出

特養介護士　白井 紅音

作楽荘では週に一度、入所者の方と日用品やお菓子などを買いに、近くの「ヤマナカ」まで外出しています。

事前に欲しい物をメモして買い物に行きますが、色々な種類の物があり目移りしてしまうようです。「いっぱいあって迷っちゃうね」と言いながらも、楽しそうに品物を選んでいました。

同じ種類の物でも、ご自身で見て、「こっちを買ってみる」とか、職員も「こっちの物もいいよ」とアドバイスしたりして、入所者の方との会話を楽しみながら買い物援助をしています。

どれにしようか



買い物から帰ると、選んだ物を手に取りながら、「次もこれを買おう！」とか、「今度はあれも買おうかな？」と、次回の買い物を楽しみにしている様子が伺えます。

普段は施設内で過ごす事が多い為、こういった近場の外出も気分転換になるのだなと感じました。何より、入所者の方の嬉しそうな表情を見ると、今後も買い物外出を継続していきたいと思います。

○中野小学校との交流

特養相談員主任　安藤 威文

作楽荘で勤務するようになり常々、この辺はとても住みやすい地域だなと感じています。そう思っているのは、決して私だけではないでしょう。なぜなら、作楽荘の周りには学校が非常に多いからです。

今回訪問に来られた中野小学校もそのうちの一つです。この学校とは3年前から福祉教育を兼ね、5年生の生徒さんとの交流を続けています。今年も10月と11月に生徒59名の訪問がありました。

最初の訪問は施設の見学。そして2回目の訪問ではお年寄りとの交流を図りました。

世間では「核家族化」が進行していると言われています。実際、生徒さんから話を聞くと、祖父や祖母と一緒に住んでいる子のほうが少数でした。

そんな時代ですが、入所者の方々とふれあう中で、「お爺ちゃんとお婆ちゃんが優しくて、とても楽しかった」との声を聞くと、「高齢者福祉の未来は明るいぞ！」そんな期待を抱かせてくれます。



手作業を一緒に

美光ハイム

○入居者日帰り旅行

生活相談員　有島 美香

9月の定例会で皆さんから、日帰り旅行についてのご意見を伺いました。その際「足が悪い私も一度行ってみたい」との発言がありました。それを叶えるため乗車や歩く時間、またトイレ等を検討した結果、浜松の「うなぎパイファクトリー」に行くことにしました。

10月25日、当日は天候が悪く、かなり雨が降っていました。天気予報とにらめっこし、一時間遅れで出発。予定を短縮し、まずは昼食会場へ直行。食事は事前予約でお店のお任せメニューです。「凄いね。御飯が楽しみだった。とても美味しいよ。」と皆さんとても喜ばれました。目的地の工場では「うなぎパイ」が製造される工程を見学し、その後、カフェでゆったりと過ごしました。

生憎の天候でしたが、「足の悪い私を連れてきてくれてありがとう。苦労かけちゃったね。」と最高の言葉をかけていただきました。皆さんの喜ぶ顔がもっと見られるよう頑張っていきたいです。


参加者全員で記念撮影

倶楽荘

○祝　百歳

介護士　渡邊 裕江

10月9日、特養Bユニットにおいて、百歳を迎えられた方の誕生日会を開催。ユニットの入居者の皆さんと一緒にお祝いをしました。

誕生日会は皆さんがいつも楽しみにされているイベントです。「今日は誰の誕生日。百歳の人がいるの？」と、入居者の皆さん、祝福と驚きの声が飛び交います。「私も百歳まで生きたい」とおっしゃる方もみえました。

誕生日会の主役の原さんは食べることが本当に大好きな方なので、職員で検討した結果、今回はお好み焼きを作ってお祝いすることになりました。

準備を始めると「早く、早く」と皆さん待ちきれない様子。焼きあがるとお好み焼きを次から次へと口に運んでいました。原さんに至っては一人で三枚も召し上がり、来訪されていたご家族の方もその様子に大変喜ばれていました。皆さんも大満足。素敵な誕生日会が開催できました。今後も楽しいイベントを企画していきたいです。



いつまでもお元気で

GHくらら

○私の思い出の日

入居者　神谷 規矩子

10月27日、「今日、豊川で輪投げ大会があるから行きましょう」と、職員からお誘いを頂き輪投げ大会に参加しました。

会場は大変立派なところでした。開始前のセレモニーでは大会式典の挨拶、優勝トロフィーの返還、君が代の合唱等が行われ、懐かしい学生時代を思い出しました。

本番では投げても投げても輪は外に外れるばかり。その内運よく5・6・9番の箇所に輪が入りました。偶然入ったのですが真剣に投げていたことは確かです。

壇上に賞品が並び、どこからともなく小さな声で、「あの商品は何だろうね」等、色々な声が聞こえてきました。そして入賞チーム・グループの発表があった時に、**くら**らの声を耳にしました。何と皆さんのお陰様で、努力を持って高い点数を取ったことで賞をいただきました。優勝トロフィー等を頂き感謝の気持ちをお伝えしようと思ったのですが、嬉し涙がこみ上げて止まりません。「有難うございます。嬉しゅうございます」と伝えるのが精一杯でした。

会場で知らない多くの方に握手や励ましのお言葉を頂き、有難うございました。私にとってはこの日は忘れられない思い出となりました。

斯楽荘

○インフルエンザ対策

看護師　村野 朋子

インフルエンザは毎年12月から3月ごろに流行し、1月から2月にピークを迎えます。今年の流行は始まりが早く、11月中旬から小学校の学級閉鎖があり、早くも本格的流行シーズン到来です。

斯楽荘でのインフルエンザ対策はマニュアルに沿って行います。〈レベル1〉予防・注意喚起期間。〈レベル2〉注意報が発令された場合。〈レベル3〉警報が発令された場合。段階に応じて職員の出勤前検温、面会者への注意喚起、面会前に検温を行います。段階が進むと、面会場所の制限をします。

日常の対策は換気、次亜塩素噴霧器の使用、次亜塩素希釈液にて1日2回ドアノブなど手が触れる場所の拭き掃除をしています。

高齢者への感染は、肺炎の併発や持病が悪化し命にかかわることがあります。ウイルスを持ち込ませないことに重点を置き、今年も職員全員でインフルエンザ罹患者ゼロを目指していきます。



次亜塩素噴霧器で準備万端

ベルヴューハイツ

○盛り上がった合同運動会

デイケア介護士副主任　嶋　紘見

10月9日に運動会を行いました。今年の運動会はベルヴューハイツ始まって以来の入所・デイケア合同運動会です。

最初に全員でラジオ体操。準備運動をしっかりした後は、各フロア代表者による選手宣誓です。大役を任された皆さん、緊張で少し顔が強張っていたように見えました。

そして、いよいよ競技開始です。まずはパン食い競争。「よーい、スタート！」の合図でパンめがけ一斉に走り出します。なかなかパンが取れず悪戦苦闘。周りからは「ガンバレ！」と大きな声援が聞こえていました。

続いて玉入れ、大玉送りと全員参加の競技が続きます。皆さん心を一つにして優勝目指します。

普段物静かな方もこの時ばかりは大きな声を出し参加されていました。

全競技を終え、結果発表です。なんとデイケアが優勝。代表の方に賞状が渡されると拍手が沸き上がりました。受けとった方の誇らしげな顔がとても印象的でした。



声高らかに選手宣誓

○豊橋介護予防大会

地域包括 看護師　山﨑 理枝

11月28日、あいトピア多目的ホールにて豊橋介護予防大会を開催いたしました。この大会とは、介護予防に取り組む市内65歳以上のシニアグループの発表の場、そしてこれから取り組もうとする人への啓発の場となる大会のことで、今年度は主に中央圏域の包括支援センターが中心となり実行委員会を立ち上げ準備していきました。

当事業所の役割は当日の受付、誘導係とステージに掲げる看板作りでした。看板については一誠福祉会役員の佐藤征子監事に書道の文字をお願いしたところ、快諾して下さり、さらに大会にも参加して下さいました。

発表については旭小学校2年生の参加もあり、併せて8グループ。皆さんの溌剌とした発表にとても感動しました。

高齢者が介護予防に関心を持ち、地域の中で健やかに安心して暮らしていけるような支援を今後も業務の一環として遂行していけたらと思います。



大会は成功裡に閉会しました

DSC吉かわ

○令和の秋2

介護士　市川　知恵

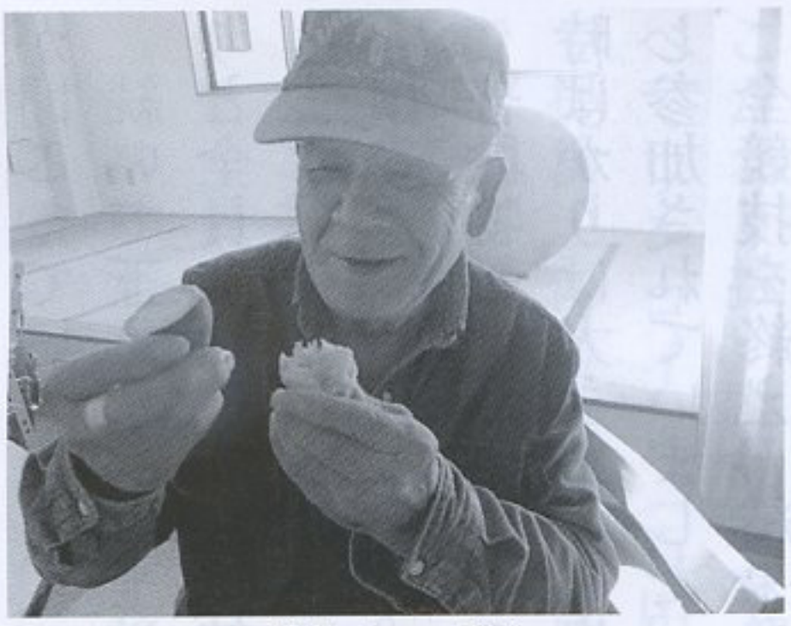
吉かわでは十一月の二大行事として『文化祭』と『収穫祭』を企画し、二日には『文化祭』を行ないました。

数日前から室内の壁面にこの一年間に製作した季節ごとの壁装飾などを飾り付けました。

当日には日本の文化に触れていただくよう、おやつの時間には、栗と餡入りのもっちりとした栗あん巻きと抹茶をご提供。ご自身でたてられた抹茶をお飲みになる方もみえました。「とても美味しかったよ」と嬉しい声が数多く聞こえてきました。ご自分でたてられたお茶の味は一味違ったことでしょう。

次いで四日～六日の三日間で『収穫祭』を行いました。十月十日に園児たちと収穫したサツマイモを焼き芋にして召し上がっていただく企画です。利用者さんとともに下ごしらえをし、昼過ぎから炭火でじっくりと焼き上げました。

大好評のうちに終了しました。来年も楽しみです♡



どうまいぞん

麗楽荘

○季節の作品作り

介護士　中村　楓花

今年四月から外出の機会が少ない入所者の方達に、季節が一目で感じられる作品を皆さんと一緒に作り、デイルーム入り口付近にその作品を飾ることにしました。九月は秋を意識して銀杏の葉と紅葉の葉を作成しました。一色ではなく何色も色を取り入れ、より立体感と本物に近づけるように工夫しました。



何色も重ねて

また、車椅子の入所者の方が多いため、車椅子からもよく見られる様に天井にも一週間程かけ紅葉・銀杏の葉を貼りました。日が経つにつれて、皆さんから「綺麗になった」「結構な塩梅になった」などとたくさんのお褒めの言葉を頂きました。



まるで外出している気分

室内でも春夏秋冬が目で見て感じられる様、今後も入所者の皆さんと一緒になって作品を作っていきたいと思います。

デイサービス麗楽荘

○楽しく手作業

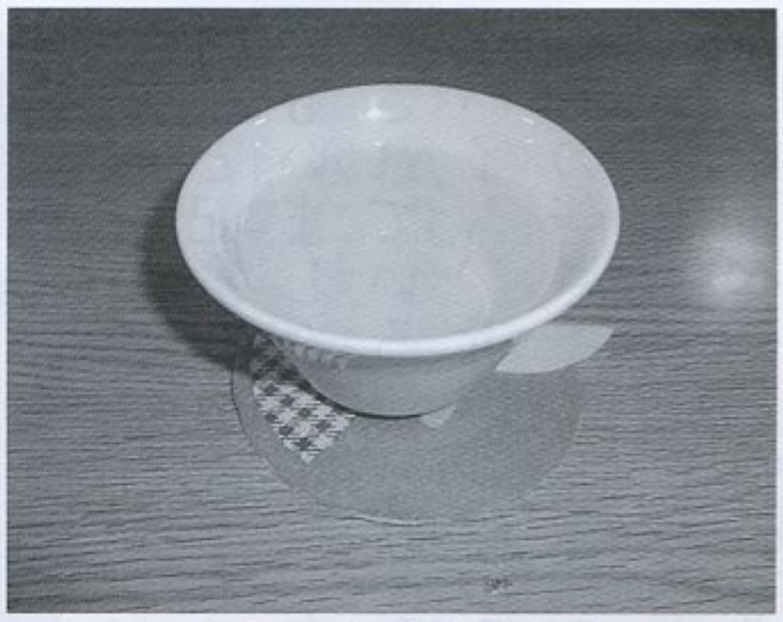
看護師　加藤　和枝

デイサービスで毎月購入している書籍「レクリエ」の中に季節に応じた色々な工作・塗り絵・脳トレの問題などが掲載されています。今回はその中の「りんごのコースター作り」を参考にして、ご利用者さんと一緒に楽しく作品を作っていきました。



沢山つくっちゃうよ

出来た作品は文化祭への出品、おやつ提供時やお客様・ケアマネジャーの来所時などにも活用してみたいと思います。



かわいく出来ました

ある方は「喫茶店に居るみたい」と喜ばれ、また「かわいい」と言って持ち帰りたいと希望する方もいらっしゃいました。皆さんの制作意欲や出来映えが高いのには驚きです。さらに色々と工夫した作業を考えていきたいと思います。

和光ハイム

○新しい仲間

介護士　鈴木　裕佳

和光ハイムに今年の六月下旬頃から新しい仲間が増えたのでご紹介したいと思います。

新しい仲間の正体は「メダカ」です。主任の知人のご厚意で十匹程頂いたことをきっかけに飼育をすることになりました。彼等に出会う前は「金魚」を飼育していましたが上手く飼育が出来ませんでした。今回も同じようになってしまうのではと不安な気持ちでいっぱいでしたが、入居者の方の協力で繁殖を繰り返し、今では百匹以上にもなりました。メダカの種類も色々で、全体的に色が黒い「ブラックメダカ」、大きなお腹をした「だるまメダカ」等が元気よく泳いでいます。

最近では入居者の方や職員にとっての癒しの存在になっています。さらに寒さは増してきますが、皆さんと一緒に年を越えることが出来るよう飼育を頑張っていきたいと思います。是非、和光ハイムのメダカちゃん達に会いに来て癒されて下さい。お待ちしております。



ご飯の時間ですよ～！♪

GHうらら

○「RUN伴新城」応援参加

介護士　谷口 秀代

全国各地で開催されている「RUN伴」は、今まで認知症の方と接点が無かった地域の方、認知症の方やそのご家族、医療福祉関係者が一緒にオレンジ色のTシャツを着てタスキをつなぎ、日本全国を縦断するリレーイベントです。新城では昨年始めて行なわれ、二年目の今年は昨年以上に盛り上っていました。

10月27日にイベントが開催されました。昨年は参加できなかった事もあり、何が始まるのかと皆さん興味津々です。入居者全員で沿道に出て、「もうすぐ来るよ」の声に身を乗り出し、ロードバイクが近づいて来るとうちわを振って声援を送りました。


良く頑張ったね

タスキを渡す場所では選手と記念撮影をされる方もいました。また、参加されている麗楽荘や和光ハイム、近隣施設の入所者の皆さんとも交流ができました。帰荘後もしばらくイベントの話で盛り上っていました。

皆さんの笑顔を見ることができ、とても有意義な時間になりました。来年も是非参加したいです。

奇楽荘

○昼食会にお招きして

介護士　鈴木 幹奈

奇楽荘では年に一度、運営推進会議の開催日に合わせて「寿司祭り」を行なっています。入居者の方のご家族や地域の方などにお声を掛けさせて頂き、入居者の方と一緒に昼食を召し上がってもらいます。

当日のメニューは、マグロやイクラが乗った彩り鮮やかなちらし寿司。ボリュームもあり、皆さん食べきれないかと思いましたが、普段、ご飯茶碗半分程しか食べない入居者さんが完食してしまったことには驚きました。「美味しかったよ」と多くの方から感想をいただき嬉しく感じました。

息子さんや娘さんと会話しながら昼食を食べる入居者さんの表情は、とても和やかで嬉しそうでした。

奇楽荘での食事風景を見ていただく事や、一緒に食事を摂る機会はとても少ないため、もっと多くのご家族の方に参加していただけるよう積極的に呼び掛けを行い、このような機会を大切にして継続していきたいです。


美味しくいただきました

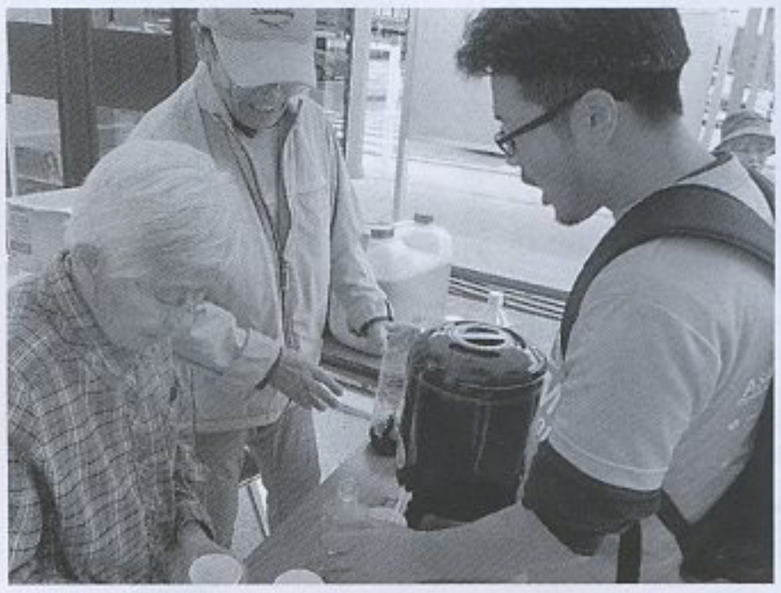
GHきらら

○ボランティア活動

介護士　宮下 市陽

毎年恒例のRUN伴イベントがやってきました。ランナーとして職員が走り、入居者の皆様には応援団として参加していただきました。そして今回はさらに、無料ブース内にて珈琲の提供をするボランティア活動を入居者2名と一緒に行いました。

慣れないことから、「どうやって注げばいいだん?」「アイスコーヒーはどこ?」と戸惑うような発言もありましたが、お客様が来店されると「いらっしゃいませ」と笑顔で接客対応をされている姿が見られました。数をこなしていくうちに、「ホットとアイスがありますが、どちらにしますか?」ともう完全に流れを把握された様子に感心させられました。時々砂糖を多めに入れてしまうこともありましたが、今回のボランティア活動は大成功。今日は疲れましたか?と聞くと、「全然疲れんよ。普段から農業やってたからね」と笑顔で返答。これからも楽しいやりがいのある企画を考えたいと思います。



楽しくボランティアを体験

本部日誌

令和元年11月

5日　作楽荘特養派遣介護職面接
6日　本部会議(於 斯楽荘)
　　木の花会職員旅行D班
11日　キャリアパス研修(於 麗楽荘)
12日　荘内研修茶々倶楽部(於 麗楽荘)
　　木の花会職員旅行E班(～13日)
14日　福祉業界就職説明会(鈴木次長・一番ケ瀬副主任 於 合同庁舎)
17日　後援会豊橋主催 ベルヴューハイツふれあい音楽会(於 ベルヴューハイツ)
19日　荘内研修茶々倶楽部(於 作楽荘)

作楽荘日誌

令和元年11月

1日　生花クラブ
3日　作楽荘・美光ハイム文化祭
4日　歌の輪会
5日　ガラス絵クラブ
　　給食会議
6日　本部会議(於 斯楽荘)
11日　宝陵高等学校介護実習(～22日)
13日　ピアノ演奏(杢野先生)
　　インフルエンザ予防接種
　　本郷中学校福祉体験学習
14日　南陵中学校福祉体験学習(～15日)
15日　寿司祭り
　　絵手紙教室
　　事故防止委員会施設内研修
16日　第8回中部在宅栄養ケア研究会(柵木 於 名古屋ルーセントタワー16F)
17日　誕生日会
19日　焼き芋会
　　音楽慰問(愛唱会)
20日　中野小学校5年生慰問
　　藤ノ花フェスタ
　　手芸クラブ
　　東陽中学校福祉体験学習
21日　ガラス絵クラブ
23日　介護者教室
28日　ピアノ演奏慰問(おたまじゃくしの会)
　　中部中学校福祉体験学習
　　連絡会議
29日　東陵中学校福祉体験学習

美光ハイム日誌

令和元年11月

1日　介護現場で働く心構え(萩森 於 日本福祉大学名古屋キャンパス)
3日　作楽荘・美光ハイム文化祭
5日　健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
　　茶話会(～8日)
7日　茶道クラブ(講師 西口先生)
12日　カラオケクラブ(講師 白川先生、26日)
13日　インフルエンザ予防接種
19日　アフタヌーンコンサート
　　焼き芋会
20日　書道クラブ(講師 岩田先生)
21日　華道クラブ(講師 田中先生)

倶楽荘日誌

令和元年11月

1日　愛老協スキルアップ研修(藤田 於 日本福祉大学)
3日　津田市民館まつり参加(工藤 於 津田市民館)
5日　職員健康診断(於 タキカワ整形外科クリニック～15日)
12日　運営推進会議
13日　パッチワーククラブ(Pちく)
20日　習字教室(小嶋先生)
　　インフルエンザ予防接種
　　倶楽荘連絡会議
　　Cユニット誕生日会
23日　Aユニット誕生日会
27日　Bユニットイベントランチ
28日　愛老協スキルアップ研修(白井 於 日本福祉大学)

GHくらら日誌

令和元年11月

1日　芋ほり
2日　津田コスモス畑散策
3日　津田市民館祭り参加(湯浅・野澤 於 津田市民館)
5日　職員健康診断(於 タキカワ整形外科クリニック～15日)
　　Aユニット外食(やまに会館)
12日　運営推進会議
13日　パッチワーククラブ(Pちく)
14日　口腔ケア研修(西村 於 愛知県医師会館)
20日　習字教室(小嶋先生)

斯楽荘日誌

令和元年11月
3日　文化祭外出（4名 於 作楽荘）
4日　連絡会議
5日　給食会議（於 作楽荘）
8日　運営推進会議、Aユニットミーティング
17日　豊川吹奏楽団演奏会
19日　荘内茶々研修（於 作楽荘）
20日　連絡会議（於 倶楽荘）
21日　地域密着型特養合同会議
22日　Bユニット誕生日会
25日　排泄に関する勉強会
26日　ユニットリーダーミーティング
27日　音楽療法（おたまじゃくしの会）
28日　連絡会議（於 作楽荘）
29日　Cユニット誕生日会
30日　フラダンス鑑賞会

ベルヴューハイツ日誌

令和元年11月
4日　文化祭（音楽鑑賞会）
音楽演奏（豊橋交響楽団）
5日　吉川老人クラブ出前講座（堀内主任・菅沼・山崎 於 吉川社務所）
12日　職種別会議（堀内主任 於 あいトピア）
クラフト作成（日本レクリエーション協会）
17日　ベルヴューハイツふれあい音楽会
18日　高齢者虐待防止対応人材養成研修（菅沼 於 蒲郡商工会議所）
19日　連絡会議
20日　音楽慰問（杉原見代氏）
21日　音楽療法（おたまじゃくしの会）
22日　生け花3F（講師 佐藤先生）
23日　南京玉すだれ（山吹里の会）
24日　誕生日会
25日　湯谷温泉フェスタ（～30日）
音楽慰問（松尾貴臣氏）
26日　音楽慰問（うたくらぶ）
職種別会議（社会福祉士）（菅沼 於 豊橋市役所）
27日　音楽療法（ヘボの会）
28日　介護予防大会（堀内主任・菅沼・山崎・羽田 於 あいトピア）
29日　二胡演奏（故乃音会）
認知症連携推進研修会（堀内主任 於 豊橋市役所）

DSC吉かわ日誌

令和元年11月
2日　文化祭
4日　収穫祭（DSC吉かわ産の焼いも ～6日）
6日　保健所立入検査
7日　職場体験事前面接（吉田方中）
11日　季節の花週間（～16日）
18日　演芸慰問（ひよこオンステージ）
19日　ベルヴューハイツ連絡会議（滝川主任）
22日　習字教室（講師 佐藤先生）
23日　ミーティング
28日　福祉体験学習（中部中）

麗楽荘日誌

令和元年11月
1日　介護現場で働く心構え研修（生田・中島 於 日本福祉大学名古屋）
2日　生け花クラブ
3日　文化祭
10日　てまり会慰問
11日　介護実習（宝陵高校3名 ～11／22）
12日　介護実習（宝陵高校2名 ～11／15）
14日　制服委員会（事務部門 斯楽荘）
15日　連絡会議
16日　寿司祭り
19日　労力奉仕（はぐるまの会）
介護実習（宝陵高校2名 ～11／22）
25日　介護体験実習（愛教大1名 ～11／29）
26日　老人ホーム三河部施設長会議（小島荘長 於 ウインクあいち）

和光ハイム日誌

令和元年11月
1日　生け花教室（加藤輝子講師）
和の会
3日　文化祭
7日　体操教室（今泉講師）
8日　インフルエンザ予防接種
12日　お茶を楽しむ会
給食会議
13日　バスハイク
14日　介護職員口腔ケア研修会（鈴木 於 愛知県歯科医師会館）
15日　連絡会議
16日　寿司祭り
21日　体操教室（今泉講師）
大正琴教室（西亀講師）
22日　新城市福祉円卓会議出席（相山）
27日　書道教室（加藤美代子講師）
29日　健康チェック

GHうらら日誌

令和元年11月
3日　麗楽荘文化祭
8日　インフルエンザ予防接種
12日　はぐるまの会
19日　訪問美容サービス
23日　運営推進会議
24日　のんほいルロット
27日　誕生日外食
認知症カフェ
28日　紅葉狩り

奇楽荘日誌

令和元年11月
2日　J笑門訪問販売（毎週土曜日）
3日　文化祭（於 麗楽荘）
7日　バンドミー荘内販売
9日　運営推進会議（寿司祭り）
13日　バスハイク紅葉狩り
15日　連絡会議（於 麗楽荘）
18日　職員健診（～29日）
28日　誕生日会
29日　レインボーハウス荘内販売

GHきらら日誌

令和元年11月
3日　文化祭（於 麗楽荘）
5日　訪問診療（宇利）
全体会議
6日　日帰り旅行
7日　訪問診療（吉祥）
15日　インフルエンザ予防接種
17日　五葉まつり
19日　防災訓練
22日　紅葉狩り
24日　俺ん家食堂
新城歌舞伎
26日　みかん狩り
28日　運営推進会議

編集後記

今年は「令和元年」の祝賀ムードに包まれた1年であった。今年の1文字漢字も多くの方が予想したとおり「令」。

しかしその影に隠れて今年も昨年の漢字「災」が日本列島を襲った。豪雨による河川の決壊、風害による家屋の倒壊等、目を覆いたくなるような光景がリアルタイムで飛び込んできた。たまたまこの地域は被災しなかったが対岸の火事ではない。想定外はもう当てはまらない。「常に備えよ！」である。

この師走、今年1年を本誌10大ニュースで振り返る。前述を考えれば法人もまずは大過なく運営することができ、そっと胸を撫でおろす。

来年は東京オリンピックが開催される。明るい話題の多い1年になることを願いたい。（T・A）